

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：認定こども園 湘南こども園	種別：幼保連携型認定こども園
代表者氏名：田中 一也	定員（利用人数）： 212名（利用人数：208名）
所在地：〒253-0113 高座郡寒川町大曲1-1-6	
TEL：0467-84-9229	ホームページ： <a href="https://www.shounankodomoen.jp/">https://www.shounankodomoen.jp/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成30年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人正栄学園	
職員数	常勤職員：22名 非常勤職員：27名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長：1名 保育教諭：26名
	副園長：1名 看護師：1名
	主幹保育教諭：1名 歯科衛生士：1名
	主任：2名 管理栄養士：1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室：6 園庭：あり
	トイレ：5ヶ所 屋上
	調理室：1 ソーラーパネル
	事務室：1 エレベーター
	講堂：1
	子育て支援室：1
	理事長室：1
	職員休憩室：1
	沐浴室：1
	調乳室：1
	洗濯室：1
	配膳室：1

③ 理念・基本方針

【保育理念】	「園児はわが子」
【保育方針】	正しい躰、自立、体力づくり、安心、安全、安定
【スローガン】	入って良かったと言われる園にする
【経営方針】	保護者に必要以上の時間的・金銭的負担をかけない
【特別保育】	（対象：3歳～5歳児） 国際感覚の向上 理系重視の保育 日本の伝統文化

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- 国際感覚の向上…今や世界はひとつ、多種多様な国々が存在しています。外国の言語、生活習慣・風習・マナー・国民性・人間性・国土等を正しく理解するための基本を育成し認識向上する教育・保育を行います。
- 理系重視の保育…「理科から工業へ」国の経済が大きく左右されますが、最近の世の中の傾向は理科敬遠の傾向にあります。幼児期から理科の面白さを知らないうちに感じられるようなカリキュラムを組んでいます。
- 日本の伝統文化…素晴らしい日本の伝統文化に幼少期から触れ、日本を理解する保育を行います。ふじ幼稚園でも行っていた茶道・そろばん・童謡などを教育・保育に取り入れています。
- むし歯0…歯は自分で守る時代です。生涯健康で過ごすには、むし歯にしないことが大切です。また、歯は「脳」とも関連し、大事な役割を担っています。当園では「むし歯0」を目指し、歯科衛生士が常駐し、歯の大事さ、大切さを学びます。
- 完全給食…栄養士が常駐し、0歳児～5歳児まで在籍している全園児に、自園調理した温かい給食を提供いたします。「なかよし給食」として卵・乳を使わない献立によりアレルギーがあるお子さんもみんなと同じ給食を食べることができます。それ以外のアレルギーに関してアレルギー対応で提供しています。
- 専門講師によるカリキュラム…体育指導、音楽指導、リトミック、そろばん、茶道は外部講師による専門的な指導を受けます。
- 子育て支援事業…在園児対象に預かり保育を行います。また、地域の方も含め、子育て相談、園庭開放も行っています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月31日（契約日）～ 令和6年1月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) こども園としての保育・教育環境のなかで様々な体験をしています  
園では保育園機能と幼稚園機能を合わせたこども園運営の特性を生かし、年齢に応じた、子どもが安心・安全、かつ活発に過ごせる保育・教育環境を整えています。0～2歳児クラスでは、一人ひとりに丁寧に関わりながら、興味や関心がある遊びが充分できるように配慮しています。幼児クラスでは、体操、音楽、そろばん、茶道、英語などのカリキュラム活動や、食育プログラム、歯科衛生士の職員が実施する虫歯予防プログラムを取り入れています。地域の農園に出かけるなど、園外活動での豊かな体験や生活を通して主体性を育てています。午後は異年齢合同での自由遊びの時間となっており、友だちと一緒に好きな遊びや活動をしています。年齢ごとのカリキュラムや合同で過ごす日常の中で子どもたちは様々なことを吸収し、心身ともに健康で学びある時間を過ごしています。

2) 「食」の工夫により子どもたちは食事を楽しんでいます

自園給食で献立は季節の食材を用い、行事食や郷土料理、世界の料理を取り入れています。寒川で昔から栽培されていた大麦を使った地元の麺を給食で使っています。「カムカムメニュー」では歯ごたえのある食材を使用しています。日々の給食時に、幼児クラスでは職員が盛り付ける前に、苦手なものや食欲に応じ、自己申告して減らしてもらったり、調味料（ソース）をつけるかつけないかも決めています。食育活動

として園の畑での栽培、梅シロップ作り、味噌作り、餅つきのほか、芋掘りに出かけたりしています。梅シロップや味噌は給食に利用し、餅つきでは搗き立てのお餅を味わっています。

#### 3) 保護者との情報共有により園理解を深めています

園内に子どもの作品や制作物を多く展示しています。家庭とは、各行事、保育参観、保育参加、懇談会等で子どもの成長を共有できるようにしています。お便りに子どもの成長のエピソードや写真を多く載せ、一緒に喜べるようにしています。乳児クラス（0～2歳児）のくだものだより、幼児クラス（3～5歳児）のはなだよりは、違う年齢の友だちの成長も感じることができます。また、園では、毎年こども園利用についてのアンケートを実施し、運営に生かすようにしています。日頃からの保護者との連携や共有により園への理解も深まり、理念や方針の浸透にも繋がっています。

#### 4) こども園の自己評価と公表が期待されます

職員の自己評価、保護者アンケートの結果を反映し、保育や教育の質の向上に生かそうとしていますが、こども園としての園の自己評価は行なっていません。保育や教育の質の向上に向けた組織的な取組のため、今後は定期的にこども園の自己評価をし、公表することが期待されます。

#### 5) 業務の標準化

既存のマニュアル類、手順方法は年度末に見直しをすることとなっていますが、一部マニュアル化できていないものもあります。マニュアル整備や定期的な見直しを通し、職員に対する業務の標準化をしていくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園の様々な取り組みに対し、高い評価をいただきましたこと本当に喜ばしく思っております。園児の安全を第一に保育を行い、職員にとっては働きやすい職場づくりを、これからも進めてまいります。地域とのつながりを大切にし、保護者のご意見を参考にして、保育の質の向上に取り組みます。併せて職員のスキル向上のため研修体制も充実させてまいります。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり